

# 下野市立緑小学校

## 1 学校課題

共に学び合い、高め合い、認め合う児童の育成  
 ～「対話」を軸とした学習を通して「伝える力」を育成するための指導の工夫～

## 2 研究計画

### (1) 主題設定の理由

本校では、これまで学校課題の主題を「共に学び合い、高め合い、認め合う児童の育成」とし、「学びの深まりを実感できる授業」を目指し、継続して研究に取り組んできた。前年度は、児童同士の学び合いの場面における思考を深めるためのタブレット端末の活用法として、単元の導入における児童の課題意識や探求心を持たせるための工夫、学び合いの場面における多様な考えの共有や学びの深まりを実感できる活用例などについて研究してきた。その結果、様々な教科や領域でタブレットを活用した教材開発を積極的に行おうとする教師の意欲が高まった。また、児童のタブレット活用能力はこの1年で飛躍的に伸び、今後も、あらゆる教科や場面において、タブレットを有効活用し、児童の学び合いを深めていけるのではないかという期待感がもてた。

今年度は、教師一人一人のタブレットを活用した授業開発意識と、児童一人一人のタブレット活用技術の向上というこれまでの成果を生かしつつ、さらに、研究主題に迫るため、「対話」を軸とした国語科における「主体的・対話的で深い学びのある学習」という授業の中での児童一人一人の姿と重ね合わせて再認識していきたい。

### (2) 研究の仮説

国語科の「話す・聞く」領域の学習の中で「対話」の在り方について学び、学んだことをあらゆる教育活動の場で生かすことにより、「伝える力」を身に付けることができるであろう。

## 3 研究内容

### (1) 「学級力」の向上と、互いの考えを出し合い学び合える学習集団づくり

今年度も、全学級で「学級力アンケート」と、その結果を可視化したグラフを基に、自クラスのみあてを話し合う活動を定期的に行った。特に今年度は、自クラスの良いところを見つめ、更に伸ばしていくという視点で話し合いを行った。

### (2) 国語科「話す・聞く」領域の授業研究・開発

「対話力」を高める第一歩は、聴く力の育成である。そこで、理想的な聴く態度の観点を児童と共に共有し、研究の始めと終わりにアンケート調査を実施した。また、「対話」を成立させるための「聴く」技能を国語科の「話す・聞く」領域で育成するために次のことに取り組んだ。

- ① 6年間の指導内容の系統性を捉え、次学年の内容へとつなげる意識の共有と、担当学年の児童が身に付けるべき内容が学年の終わりに身に付いたかどうかの確認。
- ② 他領域の教育活動と関連付けるなど、児童の多様な考えが出やすい課題設定の工夫。
- ③ 「深い対話」の手がかりになるような発問や児童の「聴く力」を意識させる授業の工夫、聴いた内容を受けて自分の考えを熟考（自分の考えのよさに気付く・友達考えから変化するなど）する時間の確保。

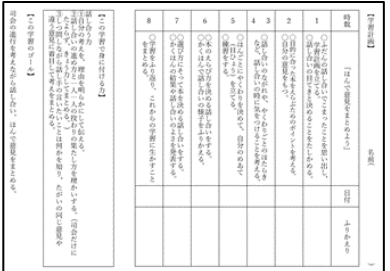
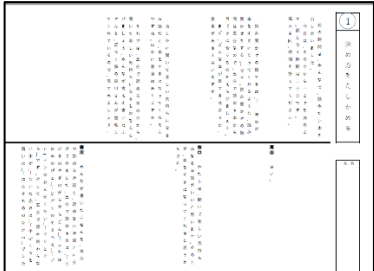
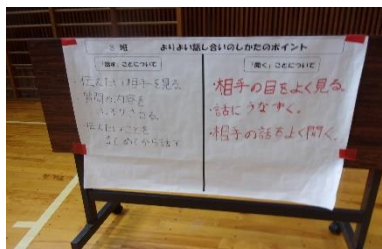


### (3) 「伝える力」を鍛えるための常時活動

- ① 朝の「お話タイム」を活用し、話すことに抵抗のある児童も気軽に話せる雰囲気を醸成したり、全員が順番に質問することにより、聴く姿勢を育てたりする。
- ② 授業におけるめあてと振り返りの継続により、解決できた喜びや新たな疑問への発展など、思考の深まりにつなげる。

学年	指導内容	対話の観点	対話の観点
低学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを伝えること</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを伝えること</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを伝えること</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> </ul>
中学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを伝えること</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを伝えること</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを伝えること</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> </ul>
高学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを伝えること</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを伝えること</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを伝えること</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> <li>相手の話をよく聴くこと</li> </ul>

児童と共有した「話し方・聞き方」観点(アンケート項目)と朝の「お話タイム」テーマ例一覧

(4) S&U コラボ事業及び要請訪問に関わる授業研究を通じた主題への取組

月日	学年	単元名	課題追究のための手立て等
6/22	四年生 (講師による 師範授業)	「つなぎ言葉で つながろう」	<p>【学習課題】 綱川先生あてにミニ紹介文を書くために、つなぎ言葉のはたらきについて知ろう。</p> <p>①目的意識(単元のゴール)をもたせるための導入の工夫 ②「ズレ」が出る課題の設定 ③自分の考えを持たせるための時間の確保</p>
10/26	三年生	「はんで意見をまとめよう」	<p>①学習の見通しをもち、課題意識を持続するための学習計画シートの作成</p>  <p>②話合いの役割や進め方について視覚的に理解しやすくするための音声資料の提示</p>  <p>音声を文章に起こした資料(拡大版を掲示し、児童にも配布して線や言葉を書き込むなどして活用した)</p>
12/21	五年生	「よりよい学校生活のために」	<p>①主体的に対話する姿を引き出すためのテーマ設定の工夫 ②思考を深めたり新たな考えが生まれたりする質の高い対話を実現するための掲示資料の作成 ③対話による合意形成を促すための教具の活用</p>  <p>児童自ら設定した話合い活動のため</p>  <p>付箋紙を活用した話合い活動</p> 

4 本年度の成果と課題

(1) 研究の成果

- ①「話し方・聞き方」の観点を明確にし、教師と児童が共有して取り組んできた。6月と1月にアンケート調査を実施し、児童と教師の意識のズレを確認することにより、必要な支援をすることができた。
- ②朝の「お話タイム」で「話し方・聞き方」に関する指導に継続して取り組んできた結果、児童同士のやり取りがスムーズかつ活発になってきた。継続して行うことで、クラスごとの工夫が見られた。
- ③全担任が「話す・聞く」単元において、「対話」が深まるような手立ての工夫など教材研究に取り組み、指導したことを学級活動など、他教科・他領域で生かすことができた。

(2) 研究の課題

- ①話合いの役割や発言する際の話し方など、「対話」する際の技能を習熟・定着させるための指導の工夫や手立てを考えていきたい。
- ②「対話」が深まることで、学びが深まり、学び合うことが楽しいと実感できる児童を育成するために「聴くこと」に関する指導の工夫についての研究を一層深めていきたい。